

愛知学院大学薬学会誌

VOLUME 1

DECEMBER 2008

愛知学院大学薬学会

THE AICHI-GAKUIN SOCIETY OF
PHARMACEUTICAL SCIENCES
NAGOYA JAPAN

愛知学院大学薬学会誌

VOLUME 1
DECEMBER 2008

愛知学院大学薬学会
THE AICHI-GAKUIN SOCIETY OF
PHARMACEUTICAL SCIENCES
NAGOYA JAPAN

巻 頭 言

この度、愛知学院大学薬学部が「薬学会誌」を創刊されますことは、誠に喜ばしい限りで心よりお祝い申し上げます。

薬学部が本学八番目の学部として創設されたのは、平成十七年でした。当時東海地区では五十年間薬学部設置がなかったため、薬剤師不足が問題でした。人口十万人対薬剤師数をみても、全国平均より愛知は14.3%、岐阜は15.8%、三重は26.6%も下廻っており、また名古屋市は東京の67%、大阪の61%にすぎない状況でした。一方、医薬分業の進展、大型ドラッグ・ストアの急増等により薬剤師需要は一層増加してきました。そのため薬学部志望者は増加し、一般入試の志願倍率は医学部並みの二十倍以上でした。このような状況の中、歯学部教育の輝やかな実績をもつ本学は、薬学部設置を決意したのです。幸いに薬学部第一回入試では、倍率が二十七倍となり、優秀な学生が入学してきました。その後薬学部の急増により薬学部を取巻く環境も大きく変化してきましたが、本学は設立が早期であったため優秀な先生を招聘出しました。すべてが零からの出発の新設学部で、先生方に先づ学生教育に全力投球を要請したのですが、お蔭で学部は順調に進んできています。先日の第一回国試対策模擬試験で本学は全国第三位の成績で、今春の国家試験での好成績が期待されています。このような教育重視の新設学部にあて、先生方は大学の使命である研究にも努力されて、多くの成果をあげ、国内学会のみならず国際学会にも発表され、また今回の薬学会誌発刊と運びなっております。昨年の大学院薬科学研究科の申請で、教育資格審査に全員が大学院担当「合」と判定された事は、先生方のご努力によるもので、敬意を表するものです。本学はさらに二年後に四年制の大学院博士課程設置を申請する予定ですが、全員がこの審査に合格されると信じています。今回の学会誌発刊を期に、本学薬学部が更に発展し中部の雄として飛躍される事を心より祈念致します。



学 長 小 出 忠 孝

刊行に寄せて

愛知学院大学薬学部は、平成17年4月学生が通学しやすい都市型の楠元キャンパスに4年制薬学部として開設され、翌年6年制に全面移行しました。大学院薬科学研究科の設置も認可され、高度医療に対応できる知識・技能・態度を持つ薬剤師を養成することで地域社会への貢献を目指しています。

「本薬学部設立の趣旨に則り、薬学に関する研究・教育を通じ、学問の水準を向上させるとともに、国民の健康の保持・増進に寄与する」ことを目的とする愛知学院大学薬学会が本薬学部内に置かれております。その目的を遂行するための事業として、機関誌「愛知学院大学薬学会誌」を刊行することとなりました。本誌は、今後、毎年発刊され、愛知学院大学薬学部所属教員、院生および学生のみならず、各大学図書館等にも配布される予定となっております。本誌は、総説や原著論文など、愛知学院大学薬学部の研究活動を中心として広く薬学部を紹介する構成となっております。

本薬学部は教育を重視した研究学部を標榜しております。基礎から応用、純粋科学や実践的なもの、地域社会から国際社会に関わるものなど、本薬学部で行われている研究は広範で多様であります。ここで紹介される研究はそれらのほんの一部にすぎませんが、それぞれの研究の目的や意義とともに、本薬学部のアクティビティーを感じ取っていただければ誠に幸いです。

本薬学部にこれまで賜りましたご理解、ご協力とご厚情に心から感謝申し上げますと共に今後さらなるご懇情をお願い申し上げます。

平成20年12月

薬学部長

佐々木 琢磨

目 次

巻頭言

学院長 小出忠孝

刊行に寄せて

薬学部長・愛知学院大学薬学会会長 佐々木琢磨

総説

新規抗腫瘍性シトシンヌクレオシドの開発 1
佐々木琢磨、小幡徹、田中基裕

Pharmacokinetic aspects of therapeutic drug monitoring by using salivary concentration:
Reliability and limitation 9
Kikuo Iwamoto, Jun Watanabe

原著

GABA_A-mediated inhibition in respiratory laryngeal motoneurons of cats 23
Akira Haji, Yoshiaki Ohi, Saori Tsunekawa

Regulation of vascular tone by purinoceptor-activation in vascular smooth muscle and endothelial
cells 31
Yuka Itoh, Noriyuki Hatano, Katsuhiko Muraki

鉄過剰を伴うNAFLDと診断された男性患者の瀉血治療と鉄関連遺伝子の検索 39
坂侑樹、松岡恵理香、佐竹沙也果、滝浪由季乃、花岡千穂、廣瀬有香、前羽美佳、
高木裕介、高村実央、土屋和明、尾崎喜峰、水谷友昭、服部亜衣、巽康彰、林久男

報告

早期体験学習 -2回の病院見学を通して得たもの- 45
井上みなみ、川出恵美、熊谷静香、近藤えりか

講座紹介・業績リスト 49

評議員会便り 129

薬学会会則 134

投稿規定 136

CONTENTS

REVIEW

Development of new antitumor cytosine nucleosides 1

Takuma Sasaki, Tohru Obata, Motohiro Tanaka

Pharmacokinetic aspects of therapeutic drug monitoring by using salivary concentration:

Reliability and limitation 9

Kikuo Iwamoto, Jun Watanabe

ORIGINAL

GABA_A-mediated inhibition in respiratory laryngeal motoneurons of cats 23

Akira Haji, Yoshiaki Ohi, Saori Tsunekawa

Regulation of vascular tone by purinoceptor-activation in vascular smooth muscle and endothelial cells 31

Yuka Itoh, Noriyuki Hatano, Katsuhiko Muraki

Phlebotomy and genetic study for a male patient with non-alcoholic fatty liver disease associated with iron overload 39

Yuuki Ban, Erika Matsuoka, Sayaka Satake, Yukino Takinami, Chiho Hanaoka, Yuka Hirose, Mika Maeba, Yuusuke Takagi, Mio Takamura, Kazuaki Tsuchiya, Yoshimine Ozaki, Tomoaki Mizutani, Ai Hattori, Yasuaki Tatsumi, Hisao Hayashi

Published by

THE AICHI-GAKUIN SOCIETY OF PHARMACEUTICAL SCIENCES

1-100 Kusumoto-cho, Chikusaku, Nagoya 464-8650, Japan